

「教育におけるビッグデータ・学習資源共有流通基盤」研究会

主催： JMOOC 学習ログ・ポートフォリオ部会

大学 ICT 推進協議会学術・教育コンテンツ共有流通部会 (AXIES-csd)

情報処理学会 CLE 研究会

日程： 2015 年 2 月 20 日 (金) 10:30-17:00

場所： 一橋大学一橋講堂中会議室 2

(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2、学術総合センター 2 階)

募集定員： 30 名

開催趣旨：

MOOC (Massive Open Online Course、大規模公開オンラインコース) が 1 つの触媒となって、これまで別の分野として研究あるいは運用されていたものが 1 つに収れんし、さらに高度な次元での「教育における ICT 利用」が本格化しそうな状況になってきました。ビッグデータと学習解析、API などによる、コンテンツばかりでなくデータやサービスも含めた共有再利用のためのプラットフォームや ecosystem、personalization や生涯学習ポートフォリオを実現するためのツールやデータベース連携などが実現可能な目標となっています。一方、こうしたシステムやデータは、ひとの一生 (生涯学習) に関わるものであり、また大規模に展開されるものになるため、機関をこえてポリシーや技術標準の合意も必要になるものと考えられます。

本研究会は、本分野での研究や事業化を推進してきた 3 団体が中心となって、本分野の関係者に参加をよびかけ、これまでの成果を共有し、今後 3-5 年間のあるべき協働について意見交換する場を提供するものです。データの保有者にはビッグデータを使いこなせていない状況がある一方、研究者やベンダーには開発した学習解析ツールをテストするフィールドがないという状況があり、これをつなぐ場としても期待しています。

トピックス

1. 教育におけるビッグデータ： 背景と目的

基調講演： NII・喜連川優

2. 何を記録するのか、何を分析したいのか：

3. どこに、どうやって記録し共有するのか

4. 教育実践あるいは研究開発の事例

参加登録：

会場の定員から参加登録が必要です。ご参加をご希望の方は、担当幹事 放送大学・山田 (tsyamada@ouj.ac.jp) まで、ご氏名、ご所属・肩書、JMOOC・AXIES・情報処理学会のいずれかの会員であるかご記載の上、お申し込みください。まず、主催・共催 3 団体の登録者を優先させていただき、その後余裕がある場合は、一般公開といたします。

また、ご発表の枠も若干 (3 件以内) ご用意できますので、発表をご希望の方はお申込みの際ご相談ください。

スケジュール

発表時間、演題、発表者、順番等は、今後変更する可能性があります。

2015年2月20日(金)		
10:00	開場	
10:30	開会の辞	喜連川優 (NII)
10:40-11:10	基調講演	喜連川優 (NII)
11:10-12:10 セッション1 教育における学習解析 1		
15分	反転授業と学習解析(仮)	重田勝介(北大)・武田俊之(関学)
15分	TBA	芳賀瑛・常盤祐司(法大)
15分	Learning Analyticsにおけるウェアラブルセンサ活用の可能性	○多川孝央(九大)・田中洋一(仁愛女子短大)・山川修(福井県立大)
15分	ICT利用による教授学習の改善とエビデンスデータに基づいた教育改革の推進	酒井博之・飯吉透(京大)
12:10-13:00 昼食		
13:00-14:00 セッション2 MOOCプラットフォームにおけるデータ利用		
15分	gaccoプラットフォームの現状と課題	渡辺泰将(NTT ナレッジ・スクウェア株式会社)
15分	OpenLearningプラットフォーム	岸田徹(株式会社ネットラーニングホールディングス)
15分	JMOOC-OUJプラットフォーム	堀真寿美(TIES)・小野成志(TIES)・喜多敏博(熊大)・小林信三(smileNC)・山地一禎(NII)・山田恒夫(放大)
15分	TBA	—
14:00-15:00 セッション3 教育における学習解析 2		
15分	早稲田大学におけるMOOCへの取り組み	渡邊文枝・森裕樹・向後千

	みについて	春・深澤良彰（早大）
15分	放送大学における履修情報分析の現状と課題	秋光淳生（放大）
15分	外国語学習における学習過程モデルの構築	山田玲子（ATR 知能ロボティクス研究所）
15分	MOOC と学習研究：課題の整理	山田恒夫（放大）
15:00－15:20	休憩	
15:20－16:50	セッション3 今後の共同に向けて	
15:20－15:40	連携基盤（仮）	梶田将司（京大）
15:40－16:00	パネル：「国際標準化：ExperienceAPI と Caliper」	はが弘明（デジタル・ナレッジ）、村田真（日本電子出版協会）・山田恒夫（放大）＋
16:00－16:55	全体パネル（参加のみなさんとの情報共有） 連携基盤と標準化の視点から、共同研究／事業への展望、そのほかの課題（プライバシーとクリーニングなど）	司会：山田恒夫（放大） パネリスト：TBA
16:55－17:00	閉会の辞	深澤良彰（早大）